



学校だより

横浜市立朝比奈小学校

令和4年2月28日

第11号



「朝比奈小でピンクシャツデーを行いたいと思います」

校長 神田 敏之

4年1組の児童が朝会で全校児童に向けて話をしました。「ピンクシャツデーの企画をしようと思った理由は二つあります。一つ目は、活動をみんなで協力してやることで安心して学校に行けるからです。二つ目は、私たちの朝比奈小学校でいじめが一つも起きない学校にしたいからです。ぜひ協力してください。ピンクのカードを各学年に配るので、そのカードを2月22日に身に付けてきてください。」



このカードは学級ごとに異なっています。学級目標に合わせたカードになっていて、「いじめをやめよう」などのメッセージも入っています。裏に両面テープが貼ってあり、服に付けられるように工夫しました。

ピンクシャツデーは、カナダの高校生が始めた「いじめ反対運動」です。

男の子が、ピンク色のポロシャツを着て登校したことをきっかけに、いじめにあいました。それを知った上学年の男子2人が、「いじめはもうたくさんだ」と、ピンク色のシャツを買い集め、学校のネット掲示板やメールを通じて、「明日、みんなでピンクのシャツを着よう!」と呼びかけました。

多くの生徒たちが賛同。学校中がピンク色になったのです。これによって、いじめを受けた生徒は安心して学校に通えるようになり、その学校でのいじめは自然になくなったといえます。

2月の最終水曜日をピンクシャツデーとし、180か国以上の国に広がっています。

いよいよ当日です。私もピンクの色が入ったシャツを着て、カードを付けて校門に立ちました。家を出るときからカードを胸に付けてくる子ども、ピンクの色が入った服を着ている子どもを見て、胸が熱くなりました。

今日は起きたとき、一日が始まるのを楽しみにしていました。今日はピンクシャツデーの日ですからね。みんなが着てくれるか、カードを付けてくれているかが心配だったけど、結局ほとんどの人がピンクの洋服を着てくれました。最高だと思いました。

今日はピンクシャツデーの活動をしてよかったと思いました。理由は、進んでおもしろいやる行動をしていた人がいたからです。特に図工の時間では、刷り終わって最後の片づけをするときに協力していたことが印象に残っています。

今回の活動を通して、子どもたちの行動力や発想の豊かさに驚きました。陰で活動を支えた担任の力もあったと思います。自分たちで考えたことが実現するというよいモデルになりました。自分で考え、行動する子どもの育成をこれからも進めていきます。